



備えあれば憂いなし!

台風に備えましょう

強風や大雨を伴った熱帯低気圧で、最大風速がおよそ毎秒 17 m 以上のものが「台風」と呼ばれます。夏から秋にかけては台風が発生しやすく、毎年日本全国で土砂災害や暴風雨による被害が出ています。台風の特徴を理解し、日ごろから気象情報に注意しておきましょう。また、家の周りや地域の危険箇所を確認し、家族や地域で安全対策を話し合っておきましょう。 図総務課危機管理室 (☎ 82-1122)

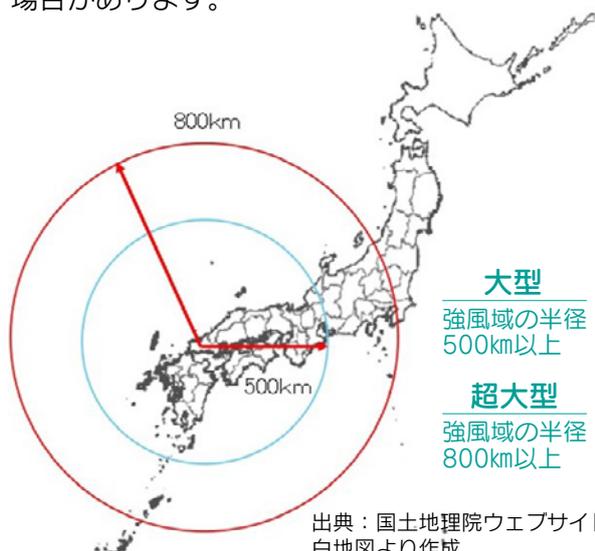
台風の強さ

台風の強さは、その最大風速により区分されます。

強さ	最大風速
猛烈な	毎秒 54 m 以上
非常に強い	毎秒 44 m 以上 毎秒 54 m 未満
強い	毎秒 33 m 以上 毎秒 44 m 未満
(表現しない)	毎秒 33 m 未満

台風の大きさ

強風域(10分間平均風速毎秒 15 m 以上の風が吹いているか、吹く可能性がある範囲)の大きさによって決められています。台風の中心付近でのみ災害が起こるわけではなく、台風から離れたところでも大雨等による災害が発生する場合があります。



こんな台風には要注意

◎台風の中心が市の西側を通過する

雨・風ともに非常に強くなります。

◎台風接近が満潮と重なる

気圧が低下することで海面が高くなります。海岸や河口付近では高潮や高波に注意が必要です。

台風に向けてのチェックポイント

✓ 家の周りを点検する

- 雨戸や屋根を補強し、鉢植えや物干し竿等の飛ばされそうなものは屋内へ移動させるか固定する。
- ブロック塀や外壁のひび割れ、亀裂は補修する。
- 水の流れを良くするため、側溝や排水溝は清掃する。



✓ 非常時持出品を準備する

- 避難情報が発令された際に、すぐに行動ができるよう、非常時持出品や貴重品を準備する。
- 感染症対策として、マスク、消毒液、体温計等を準備する。

✓ 食料・飲料水を備蓄する

大規模災害によってライフラインが寸断されることを想定して、最低 3 日以上できれば 7 日分の食料や飲料水を備蓄する。

✓ 停電に備える

懐中電灯や携帯ラジオ、予備の電池を用意する。

✓ 避難の計画を立てる

- 近隣の避難場所を確認する。
- 避難場所への道順を確認する。



情報提供をお願いします

- 電柱や電線から火花が散っていたり、異常な音がしたりしている。
- 電線が切れたり、垂れ下がったりしている。

【連絡先】中国電力ネットワーク(株)宇部ネットワークセンター (☎ 0120-613-277)